

## 子ども参加に係る市での主な事例

類型	主な取り組み
市への提言・意見表明	○中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ」 未来を担う若者世代が、市政や地域活動などに関心を持ち、市の施策に関する理解を深めたり自分たちの世代に向けた事業についての提言を行ったりできる場をつくり、中高生世代の意見を施策の参考にすることを目的とした事業
居場所での参画	○地域子ども館あそべえ(放課後子供教室)における「子ども委員会」 子ども委員会は、子どもの委員と大人の委員があり、子どもの委員は各学年から選ばれたり公募したりと、各館ごとに選出方法が異なる。大人の委員は、推進会議の委員とそれ以外の委員で構成されており、子どもたちの活動を支える。委員会では、子ども自身がどんな遊びやイベントをしたいのか意見をまとめ、その企画を自分達で準備し、実施する。
	○武蔵野プレイス(B2青少年フロア)における「B2参画プロジェクト ほか」 ※「令和3年度小・中学生の講座まるごとナビ」6ページ参照。
	○若者サポート事業「みらいる」における活動 メンバー自身の発意、企画により様々な活動やプロジェクトを実施している。自分たちでコッペパン屋さんをやる「コッペパン・プロジェクト」や、引きこもりサポート事業のフォーラムにおける意見表明など。
地域への参画	○中学生・高校生リーダー養成講座 次世代を担う中学生・高校生を対象に、様々な体験プログラムやボランティア活動の機会を提供する。活動内容は「むさしのジャンボリー・サブリーダー」「保育体験」「介護体験」「各種ボランティア体験」「次世代担い手育成キャンプ(ステップアップキャンプ)」など。
講座・イベント 地域行事	※「令和3年度小・中学生の講座まるごとナビ」参照
学校	○武蔵野市民科の取組例 ・第五中学校の市長への提言(例:ベビーカー貸出しサービス「ベビ吉」は生徒の提言を受け事業化)  ○特別活動等での取組例 ・いじめ防止スローガンの作成(例:クラスで作成→運営委員会で協議・決定) ・児童による自主的、実践的な異年齢集団活動(クラブ活動、委員会活動、縦割り班活動) ・生徒会が中心になって学習者用コンピュータの学校の中での約束づくり  ※各学校によって取組の内容や名称等は異なります。